

木の花ファミリー通信

Vol.35 2010年7月号

木の花ファミリー／特定非営利活動法人 青草の会

418-0114 静岡県富士宮市下条 923-1
電話：0544 (58) 7568 ファクシミリ：0544 (58) 8015
ホームページ：http://www.konohana-family.org
メールアドレス：info@konohana-family.org



梅雨が明けて、いよいよ夏本番。早いもので「変革の年」も中盤を迎え、ファミリーはみんなの予想を超えた進化を続けています。さまざまな出来事を通じて語り合い、互いに通じ合う中で、皆がひとつになっっていくことを感じる日々。そのあたにかさに癒されたい方は、ファミリーに遊びに来ませんか？あなたの中で、きっと何かが目覚めますよ！

トピックス

「大本夏季学級」が開催されました！

7月17日から18日にかけて、ファミリーを会場に「おおもと大本静岡主会」の「夏季学級」が開催されましたので、皆様にご報告させていただきます。

「大本」は京都府綾部市と亀岡市に本部を置く宗教法人で、「静岡主会」はその静岡県支部に当たります。主会では例年この時期に小中学生を対象とした合宿を企画しており、今年はその舞台として木の花



「木の花庵」前に全員集合！

ファミリーを選んでいただきました。

今回、このような機会をいただいたのは、ファミリーで毎年旧正月に開催する行事「新春祭」がきっかけでした。僕が神式の神主を勤められることから、今年の祭典の依頼を受け、地元の静岡主会の方に連絡して神具をお借りしたのが最初のご縁でした。その後、主会で毎月開催される感謝祭に出席して交流を深めていましたが、その中で主会の方々が夏季学級の開催場所を探していることを聞き、ファミリーでの開催を提案させていただいて今回の実現に至ったので



ファミリーの「宮の下広場」でキャンプファイヤー

ました。2日間の内容は施設の案内や農作業体験、クッキー・パンづくりや「私達が住む世界」と題した環境講座、そしてファミリーのメンバーも交えてのキャンプファイアーなど盛りだくさん。ファミリーから幼児4人と小学生3人が参加して、大本の子どもたちと行動を共にしました。例年、大



おごそかに行われた「平和祈願祭」。神式の礼拝

した。

1泊2日の夏季学級には、大人と子ども約40名を超える方々が参加。雨天も心配されていましたが、折良く梅雨も明け、日中には時折日差しも感じられるお天気となりました。

子どもからも大人からも大好評。今回、企画の段階から深く関わらせていただいて、大本の方々とファミリーとのご縁を取り持たせていただいた僕としては、共に力を合わせることでよい時間と場を創りあげることができたことに感謝の気持ちで一杯です。大本とファミリーは、愛と調和が織りなす世界を創り上



木の花楽団の「いのちの泉」とおごそかなフラダンスの奉納

EVENT INFORMATION

[イベント情報]

* 木の花ファミリー生活体験ツアー *

木の花ファミリーでは、施設や圃場の見学、有機農業体験、プレゼンテーション、コミュニティ・ミーティングへの参加などを1泊2日にまとめた「生活体験ツアー」を毎月1回開催しています。自然と調和し、人と人とが助け合って暮らす実践のヒントが満載のファミリーの暮らしに、あなたも触れてみませんか？

なお、9月のツアーは連休を利用した2泊3日のスペシャル・バージョン。より深い体験をお楽しみいただけます！

*第39回・2010年8月28日(土)～29日(日) 1泊2日

*第40回・2010年9月18日(土)～20日(祝) 2泊3日

*定員：10名

*料金：7,500円(1泊2日) / 12,000円(2泊3日)

【主催・お申し込み】木の花ファミリー(連絡先は1ページ)

※ ツアー以外でのご訪問も随時受け付けております。詳しくはお問い合わせください。

上げていく志を共有していると
思っています。その両者の出
会いは、目に見える世界では
小さな出来事なのかもしれま
せんが、次元を超えた世界で
は、非常に大きな出会いなの
ではないかと思うのです。
とりわけ、2日間の締めく
くりとして行われた「世界平
和祈願祭」は、素晴らしい場
となりました。祭壇にはファ
ミリーで採れた穀物や新鮮な
野菜が彩り豊かなお供えと
なって捧げられ、神式で行わ
れる大本の礼拝とファミリー
の歌と踊りが絶妙に調和し、
会場となった「おひさまハウ
スひまわり」の大ホールを神
聖な空間に仕立て上げていま
した。カラーも個性も違うふ
たつの祈りが居合わせた人々
に新鮮な感動を与え、僕自身、
木の花楽団が歌い上げた「光
に向かって」と「いのちの泉」
を舞台の袖で聞きながら、神
様がお喜びになっっていること
を感じて言葉に言い表せない
ような感情を覚え、自然に涙

がこぼれました。

ひよんなことからいただいた
ご縁が今回のような大きな
交流の場に発展し、最後の平
和祈願祭の場に至って、本当
に魂のレベルで融合したこと
を感じました。

こうして夏季学級は無事に
幕を閉じましたが、大本と
ファミリーの交流はこれから
が始まりです。共に清らかな
世の中を創りあげていくパー
トナーとして、お互いを高め
合う関係になっていくことを
願っています。神様の御心の
ままに目の前に開けていく流
れをいただきながら、先の展
開を楽しんでいこうと思っ
ています。

(ひろっち)

木の花楽団の新曲
「いのちの泉」

7月9日の大人会議で、み
かちゃんから「新曲が生まれ
た！」という発表がありました。
た。

「ファミリーの心のステージ
が変わると、新しい歌が生ま

れる。最近の流れから、そ
ろ歌が生まれる予感はして
いました」と語るみかちゃん。
ギターを弾きながら新曲を披
露すると、その場があたたか
く優しい一体感に包まれまし
た。

「今まではそれぞれが一生懸
命心を磨きながら進んできた
けれど、これからはみんなが
みんなを見守りながら、共に
手と手を取り合って進んでい
くのだと思っています。個人
の枠を超えた全体という新た
なステージにこの場が進んで
いく。そんなときに、今まで
にないあたたかい歌が生まれ
ました」

インターネットにアクセス
できる方は、「木の花ファミ
リーブログ」の2010年7
月13日付けの記事にアクセ
スして、このときの録音を聴い
てみてください。みかちゃん
が曲の仕上げのために繰り返し
歌いながら涙が止まらな
かったというこの曲のやわら
かい優しさが、どうかみなさん
にも届きますように！

*木の花ファミリーブログ
<http://blog.konohana-family.org>
(ようこ)

「いのちの泉」
作詞・作曲 嵯峨美雅子

いのちの泉は
何のためにあるの
いのちの泉は
みんなのためにある
このいのちの泉を
あなたは誰と飲みますか
ひとり飲みますか
みんなで飲みますか
尽きることはない
この豊かな泉を
みんなで分かち合い
喜び讃え合おう
神がいのちを吹き返す
私たちの中で
私たちの道が開かれる
私たちの中で

私を包み込む 穏やかな光
私を貫いていく 力強い愛

みんながみんなを
見守りながら
みんなが愛し合う世界が始まる
集い語り合え 想い愛し合え
みんながひとつになれ
それこそが神の飲み 神の姿

今日のおすすめ!



精油成分が効果の決め手!
ガジュツパウダー
1,260円 (100g)

ファミリーでは、材料を自家栽培した健康食品を手作りしています。今回は、その中から「ガジュツパウダー」をご紹介します!

ガジュツ(我朮、別名紫ウコン)はショウガ科の植物で、古くから健胃剤や血行促進剤として使用されています。ガジュツを主成分とした生薬は薬局でも販売され、食欲不振、消化不良、胃弱、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胸焼け、胃もたれ等に効果があるそうです。

ファミリーではガジュツを無農薬、無化学肥料で自家栽培、手軽に飲めるパウダーにして販売しています。新しい健康習慣として、あなたもファミリーの「ガジュツパウダー」を日常に取り入れてみませんか?

先生は最後に「もし、創造主がいるとしたら、木の花ファミリーを一つのモデルとして実験していると思う。ここは、



「木の花庵」の前で記念撮影!

この無限の愛の姿が輪となってこの星の上に広がりますようにこの無限の愛の姿が輪となってこの星の上に広がりますように

あなたは私 私はあなた
あなたは私たち
私たちはあなた

「メビウスの輪」と木の花ファミリー

7月3、4日に「メビウス人材育成グラジュエートスクール」の学長であり、ハワ

生ご夫妻と学生さん、そして関係者の方々がファミリーを訪問されました。吉川先生ご夫妻とは13年前にカナダでご縁をいただき、以後、時々連絡を取らせていただいています。私が3年半前にファミリーに移住して以来、先生にファミリーを紹介できる機会をずっと心待ちにしていますが、今回、その希望が叶いました。

近注目されている『ナラティヴ・ベースド・メディスン』に近いものがあるということでした。それは、医師が患者から病気の症状を聞くだけではなく、「あなたの物語を聞かせてください」と語りかけることで、症状の背後にある全体の流れを見て、そこから患者の気づきを促していくというものです。この問いかけにより、既にヒーリング(癒し)が始まるといいます。ちなみにヒーリング(Healing)という言葉は「全体」を表すホー

ル(Whole)が語源で、『全体に向かっていくプロセス』という意味があります。そうした観点から、病や痛みも「全体」、すなわちワックスに向かうプロセスに過ぎないという考え方ができるのです。

教える場ではなく学ぶ場。今回ここに来たことも全て必然と感じている」とコメントされました。それに対していさどんは、「キリストや仏陀のような救世主ではなく、ひとりひとりがこの世界を任されていることに気付く時代が来ている。創造主の意識を持ちながら、この世界を生きて行くことが大事である。木の花だけが特別な世界ではない」と応じました。

(みちよ)

FROM OUR FIELDS
畑だより

FROM AOKUSANOKAI
青草の会だより



7月初旬のきゅうりの様子

ファミリーの住居である「本

宅」の目の前にある畑では、この春から初めて土中の微生物に着目した無肥料栽培「炭素循環農法」でナスやキュウリを育てています。今回は、その様子について畑隊のリーダー、こうちゃんにインタビューしました。

植えた当初は、苦戦していたんだよね。

うん、最初はキュウリやナスの葉が真っ黄色になっちゃって、どうなるかと思っ

ただだね。

それで、炭素率の高いチップとか木くずとか落ち葉とか、刈った草とかを入れたんだけど。そしたら、すごく回復したんだよね。その姿っていうのが、今までボカシ肥料とか、鶏糞や堆肥とかを入れていたときに見た姿と全然違うの。葉っぱの色も濃すぎるわけでも薄すぎるわけでもなく、すごく美しくって。本来ナスってこんな姿をしてたんだなあ、キュウリってこんな葉色だったんだなあ、って思うような。

それで、害虫もあんまり発生してないんだよね。今までやっぱり虫は捕まえて潰したり、木酢液をかけて来ないようにしたりしてたんだよね。でも今回、ウリハムシっていうキュウリにつく害虫がとってもきれいに覚えてね。オレンジ色の虫なんだけど、本当に美しい生きものなんだなあ、って思ったの。

本来は害虫とされる虫だよね。

うん、普通の農業だったら完全に殺虫剤で殺してるし、

有機農家でも手で潰したりするね。でも、これからは虫を敵としなくていいんだっていう方向性を垣間見ることができた。

ただ、炭素循環農法に転換して最初の作だから、まだ手で潰してるのね。そういう意味では、過渡期だよな。でも、これから本当に虫を敵としなくていい、そんな場所に向かっていくんだらうな、って思ってる。益虫も害虫もなく、ただそこに虫たちが飛んできて、だけど彼らが葉っぱを食べすぎてダメになることもなくて、野菜たちが出来て、人間が収穫物をもらって、みんなが生き活きと生きてる、そんな場所だよな。

この間、「癒される畑」っていうイメージをみんながシェアしたけど、それに対していさだんが「今は60点くらいかな」って言っていたよね。僕もそう思ってる。

「癒される畑」って、どういうことなのかな。

それはね、「たくさん取って

やろう」っていうのはやっぱり欲でしょ。それで肥料を入れるんだけど、そうすると葉っぱの色が濃くなったり、黒くなったり、まあ、今まではその姿が当たり前だと思ってたんだけど。でも、今回は欲を持たずに、ただ森林のような状態を作っただけなんだよね。そういうところで、欲で作った姿をしていない野菜たちがそこにいるってこと自体が癒しなんだな、って。山や森に入ると、人は癒されるでしょ。それに近い感覚なのかな、って思うんだよね。

夢のある話だね。

そうだね。やっぱり僕らがそれをしっかり確立して、みんなのモデルにしてもらえたらいいな、って思ってる。

++ +

インタビュ어의続きはファミリーのブログで公開していますので、ぜひお読みください！

***木の花ファミリーブログ**

<http://blog.konohana-family.org>

(いさお)

次回定例会のお知らせ

日時：2010年9月13日(月)
14時10分～

場所：まことの家

お詫び 今月号は編集の都合により発行が遅れました。皆様に深くお詫び申し上げます。

木の花ファミリー通信
2010年7月号

編集・制作 / 木の花ファミリー

©2010 木の花ファミリー

★木の花ファミリーとは？

94年創立、富士山の麓で有機農業による自給自足を生活の基盤に66人が血縁を超えた家族として生活を営む共同体です。

★NPO法人青草の会とは？

01年に木の花ファミリーを母体として有志で設立されたNPO法人です。「いのちがつながる社会」の実現に向けて、環境や福祉への取り組み、有機農業の普及・啓蒙、エコレレッジへの取り組みなど、さまざまな活動を行っています。

このニューズレターはクリエイティブ・コモンズにもとづき、原作者のクレジットを表示し、改変せず、非営利目的で使用する限りにおいて、自由に複製、頒布、展示することができます。

